

浅羽学園 幼保小のかけ橋期のカリキュラム(令和7年度版) 学園教育目標:「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成

【健安】【生活】【特活】【学習】は、浅羽学園教科外カリキュラムの「発達段階における子どもの姿」との繋がりを示しています。

アプローチカリキュラム(5歳児)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
ステージ	I			II			III			IV							
育幼児てのほ姿しい	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する						気持ちよく生活するために必要なことに気付き、自分で取り組む						就学に期待をもち、自信をもって生活する			
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ			好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる			目的に向かって、実現するための方法を考え工夫して遊ぶ									
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む			友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる			友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう									
育みたい資質・能力	幼児期の終わりまでに育つべき姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え	(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重	(協同) 協同性 (数量) 数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い	(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現											
	知識及び技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って、考えて行動する。(道徳・社会) 積極的に身体を動かし、様々な活動に取り組む。(健康・自立) きまりの必要性が分かり、守ったり考え合ったりする。(自立・道徳・社会) 絵本や物語に親しみ、言葉のもつ意味やおもしろさなどに気付く。(言葉) 						<ul style="list-style-type: none"> 時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める。(健康・自立・道徳・社会) 自分のよさに気付き、自信をもって行動する。(自立) 									
	学びに向かう力・人間性等	<p>異年齢や他園の年長児、小学生と触れ合う中で、人との関わり合い方を知る。(社会)【生活】</p> <p>身の回りを整える必要性が分かり進んで行おうとする。(健康)【生活】</p>						<p>小学生との交流を通して小学校について知り、就学に希望をもつ。(社会)【特活】</p> <p>自分がしなければいけないことを意識しながら行動する。(自立)【生活】</p>									
指導上の配慮事項	多様性への配慮 (赤の文字は学園の「任せて認める指導」との関連)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象に積極的に関わり、自ら気付いたり発見を楽しんだりする。(思考・自然・数量) 自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いや考えを聞いたりする。(思考・言葉) 						<ul style="list-style-type: none"> 感じたことや考えたことを様々な方法で表現することを楽しむ。(表現・言葉・思考) 予想をしたり確かめたりして事象への関わりを楽しむ。(思考・自然・数量・表現) 						<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって考え、工夫したり協力したりする。(協同・思考・言葉) 自分の体験や友達の考えを生かして、自分の考えを広げて楽しむ。(思考・言葉) 自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の話を理解して行動したりする。(言葉・表現・思考・自立) 友達と相談しながら工夫し合って表現する過程を楽しむ。(表現・言葉・協同・思考) 			
	興味や関心をもって試行錯誤しながら遊ぶ楽しさを感じる。(思考)【学習】							<p>自分の思いや考えを相手に分かるように、言葉を考えて伝えようとする。(言葉)【特活】</p>									
	学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 興味や関心をもって試行錯誤しながら遊びを楽しむ。(自立・思考) 身近な動植物に触れ、命を大切にしようとする。(自然・道徳) 生活の中にある图形や数量に触れたり親しんだりして、興味・関心をもつ。(数量・思考) 友達との関わりの中で、役割を受け持つて遊ぶことを楽しむ。(協同) 						<ul style="list-style-type: none"> 様々なことに繰り返し取り組み、諦めずにやり遂げる達成感を味わう。(自立) いろいろな人と触れ合い関わる中で、地域の人親しみをもつ。(社会) 身近な自然に触れ、不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める。(自然・思考・表現) 						<ul style="list-style-type: none"> 互いの思いや考えを認め合い、友達と遊びを進めることを楽しむ。(協同・言葉・社会) 場や状況を考えて行動しようとする。(社会・道徳) 身近にある文字や数などに興味・関心をもち、生活に取り入れようとする。(数量) <p>自分の気持ちに折り合いを付けながら生活を進める。(道徳)【特活】</p>			
家庭との連携	多様性への配慮 (赤の文字は「浅羽学園のひとづくり」との関連)	<ul style="list-style-type: none"> やってみたい気持ちが実現していくような環境づくりをする。 文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。(当番表・片付け等明示・誕生表等) 進級した喜びを十分に味わわせ自分から行動できるようにする。 個々の発達を捉え、他の子どもとつながり、安心して過ごせるようにする。(年齢) 						<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで考え、やってみようと思えるような場を多く設定し、その中で自分の力を十分發揮できるようにする。 不思議に感じたことへの共感、調べて分かる楽しさが感じられるようにする。 子ども同士の意見のぶつかり合いや葛藤を大切にしていく。自分で乗り越えられるように見守ったり、気持ちを支えたりする。 子どもの知っている知識や情報を活かし関心が継続するようにする。 						<ul style="list-style-type: none"> 子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設定する。 少し難しいことに向き合い、友達と工夫して乗り越えていく場づくりをする。 目的が明確にモーティベーションする。 一人一人の頑張りを認め、クラスの子どもに知らせることで、よさに気付かせたり、頑張りを喜び合ったりする。 関わりの中で互いの思いを理解できるように、相手の言葉や表情、行動に関心を向けられるようする。 			
	多様性への配慮 (赤の文字は「浅羽学園のひとづくり」との関連)	<ul style="list-style-type: none"> 進級・進学に対する不安への対応を図るために、1年間の見通しを知らせたり、面談で保護者の願いを聞いたりする。 接続のためのアプローチプログラムについて知らせること。 「浅羽学園の人づくり」を配付し、家庭での活用を促す。 						<ul style="list-style-type: none"> 自分の力で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。 子ども間で起った出来事については丁寧に受け止め、関わりの中の学びを知らせ、理解につなげる。 遊びを通して様々な意欲が引き出されることや、子どもが関心や疑問に思ったことを家庭でも一緒に考えたり遊んだりできるよう保護者に伝える。 						<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けられるような生活を促す。 入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。(接続のためのスタートカリキュラムについて知らせ) 保護者の願いを受け止めながら引継ぎを丁寧に行い、安心して就学につなげられるようにする。 			

浅羽学園 幼保小のかけ橋期のカリキュラム(令和7年度版) 学園教育目標:「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成

【健安】【生活】【特活】【学習】は、浅羽学園教科外カリキュラムの「発達段階における子どもの姿」との繋がりを示しています。

スタートカリキュラム(1年生)												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ステージ	V		VI			VII			VIII			
育児の姿勢	知識及び技能 思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する 小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する 自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする	生活のリズムを身につけ、見通しをもって学習や活動に取り組む 友達と考えや気持ちを話し合ったり聞き合ったりする 学習や生活の目標に向かって、進んで自分の力を發揮しようとする	様々な活動や人々に関心をもち、関わることのよさや楽しさが分かる 自分の思いを話したり書いたりして表現する 友達と互いに励まし合いながら、主体的に学習や活動に取り組もうとする	大きくなったこと、できるようになったことなど、自分の成長に気付く 考え方や気持ちを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする 成長を確認し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする							
幼児期の終わりまでに育てほしい姿	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え				(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重	(協同) 協同性 (数量) 数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い	(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現				
育成を目指す資質・能力	知識及び技能 思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	小学校の生活の流れを知り、安全に過ごす。(健康・自立)【健安】 ・楽しく生活するために大切なルールを理解する。(自立・道徳・社会) ・身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。(自立) ・ひらがなや10までの数を理解し、読んだり書いたり、数えたりする。(数量)	・生活のリズムを身に付け、ルールやマナーを守って健康で安全に過ごす。(健康・自立・道徳・社会) ・係や当番活動などの学級の仕事を進んで行う。(自立・協同) ・植物の栽培を通して、生命をもっていることや成長に気付く。(自然)	めあてに向かって進んで体を動かして運動し、元気に生活する。(健康・自立)【健安】 ・正しいと思ったことは勇気をもって行動する。(自立・道徳) ・地域の場所や自然、人々に親しみをもち、適切に接する。(社会・自然) ・自然の様子や季節の変化を知り、生活の様子が変わることに気付く。(自然) ・かたかなや漢字に興味を持ち、使い方を知ったり、書いたり読んだりする。(数量)	・手洗いやうがいを丁寧に行い、病気に負けない体づくりをする。(健康・自立) ・伝え合いを通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる。(道徳・言葉・表現) ・1年間を振り返り、できるようになったこと、役割が増えたことを実感する。(健康・自立・社会)							
	自分の気持ちに折り合いを付けながら生活を進める。(道徳)【特活】											
	思考力・判断力・表現力等	・新しい学習に興味や関心をもち、進んで考える。(思考・数量) ・分かったことや見つけたこと、感じたことを友達に伝える。(思考・言葉・表現)	・自分の思いや考えを、理由を添えて友達と伝え合う。(思考・言葉・表現) ・具体物を使って数量を比べたり、簡単なたし算・ひき算をしたりする。(思考・数量) ・見たことやしたこと、感じたことを造形等で表現し、伝え合う。(思考・表現)	・自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて伝え方を選ぶ。(思考・言葉・表現) ・「学習課題の確認」「自分で考える」「友達と交流」「まとめと振り返り」という学習サイクルで学びを深める。(思考・言葉・表現) ・伝えたいことをグループで話し合ったり文章で表現したりする。(思考・言葉・表現)	・「比べる」「並べる」「分ける」などの思考スキルを身に付けて自分の考えを深める。(自立・思考) ・数量の関係する場面を図で考え、式や言葉で表して解決する。(思考・数量・言葉) ・自分と友達の考えを比べ、賛成・反対など自分の考えをはっきりさせ、その理由を説明する。(協同・思考・言葉) ・新しい1年生に、様々な方法で学校のことを分かりやすく工夫しながら伝える。(協同・社会・思考・言葉・表現)							
	声の大きさや速さに気を付けて、友達が聞きやすいように話す。友達の話を分かろうとして聞く。(言葉)【生活】				友達の頑張りを認めたり、よさを見付けたりして、伝え合う。(言葉)【生活】				友達と思いを伝え合うよさや楽しさが分かり、進んで思いを伝え合う。(言葉)【生活】			
	いろいろな活動や自然との関わりを通して、気付いたことや感じたことを友達や先生に伝えようとする。(表現)【学習】				見たことやしたこと、感じたことなどを、グループで話し合ったり、文章で表現したりする。(表現)【学習】				友達と一緒に意見を交わし、新しい考え方や活動を協力して生み出そうとする。(自立・協同・言葉) ・家族や地域の人々、友達などに支えられて成長したことに感謝し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする。(健康・自立・社会)			
	学びに向かう力・人間性等	・新たな友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを味わう。(自立・協同・社会) ・友達や先生に挨拶したり、親しみをもって関わろうとする。(自立・協同・社会)	・自分のめあてを考え、達成に向けて努力をしようとする。(自立) ・音楽や図工などの表現をとおして、自分の思いを表現する喜びを味わう。(表現)	・地域で出会う様々な出来事や人に興味をもち、進んで関わろうとする。(自立・社会) ・学習や活動のめあてに向かって、友達と協力しながら活動しようとする。(自立・協同) ・学習したことや経験したことを生かして生活しようとする。(自立・数量)	・友達と一緒に意見を交わし、新しい考え方や活動を協力して生み出そうとする。(自立・協同・言葉) ・家族や地域の人々、友達などに支えられて成長したことに感謝し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとする。(健康・自立・社会)							
指導上の配慮事項 ※多様性への配慮 (赤の文字は学園の「任せで認める指導」との関連)	授業の中に遊びの要素を取り入れる。 ・意図的・計画的に遊びを行う時間の設定を行う。(1時間目) ・園生活の経験を活かした活動を取り入れる。 ※特支コーディネータ、外国人担当と担任が連携し、個に応じて適切な支援をする。(年間)				問題や課題についてじっくり考える時間と場を設ける。 ・児童の興味や関心をもとにした学習課題の設定を行う。 ・体験的な活動や具体物操作などを取り入れ、学習意欲を高める。 ・活動後の振り返りの時間を確保する。	・協働して遊べるような機会を意図的に設定する。 ・「任せて認める」ことができるよう、活動内容を自分で考え、実行できる場を設定するとともに、失敗も含めた努力の過程を認める。 ・「学習課題」「考える」「交流」「振り返り」の学習サイクルを身に付ける。	・友達と一緒に力を合わせて取り組んできたことや、目的が達成されたことへの喜びが味わえるようにする。 ・共通の目的に向かって意見や考えがまとまる楽しさを実感できるようにする。 ・自分の成長に気付き、良さを実感できる環境づくりを行う。 ・思考スキルを活用し、自分の考えを深められるようにする。					
家庭との連携 ※多様性への配慮 (赤の文字は「浅羽学園のひとづくり」との関連)	面談で1年間の見通しを知らせたり、保護者の願いを聞いたりする。 ・スタートカリキュラムの様子を見てもらう。(参観会・学年便り) ※個人面談等を通じて、困り感や配慮について家庭と共に成長を見守るようにする。(年間) ・「浅羽学園の人づくり」について懇談会で周知し、過程と連携して取り組む。				自己肯定感を高めるために認める言葉掛けを家庭に働き掛ける。 ・家庭学習のねらいや方法について学年通信や懇談会等で丁寧に伝え、見届けや励ましへの協力を得るよう配慮する。	・友達との活動で協同性を学ぶことが小学校生活や学習の基盤となることを伝え、協力体制を築くよう努める。 ・学習面や生活面、行事での児童の様子や頑張りを認める。 ・懇談会において、「浅羽学園の人づくり」の内容を取り入れ、さらに周知する。	・懇談会等で1年の成長を伝え、保護者に家庭での様子を聞くことで、子供の生活や学習の状況に対する共通理解をし、来年度に向けて学校と家庭が同步調で子供の成長を目指すことができるようになる。					